

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第1回和文会誌分科会 開催日：3月5日。出席者：加藤主査，ほか22名。

1. 18件の論文審査報告がなされ，掲載決定12件，照会后掲載可4件，修正依頼1件，その他1件であった。

第1回欧文会誌分科会 開催日：3月12日。出席者：中村主査，ほか13名。

1. 15件の論文につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可7件，修正依頼2件，一旦返却3件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，1件のReportを勧誘することとなった。

第1回講演大会分科会 開催日：3月19日。出席者：鈴木朝夫主査，ほか18名。

1. 第103回春季講演大会について鈴木主査ならびに事務局より，最終的な報告があった。

2. 来春の講演大会でのポスターセッションについて討議がなされ，もう一度小委員会を開催して再検討をする必要があるという意見があった。

3. 第104回秋季講演大会募集に関して，以下のことが協議され，決定した。

- (a) 申し込み締切日は6月30日とする。
- (b) 略記号などについては申し込み用紙に明記する。
- (c) 製鉄，製鋼などの各分野の分類の再検討を行う。

共同研究会

第2回運営委員会 開催日：1月22日。出席者：武田会長，ほか19名。

1. 新任部会長の紹介
2. 昭和56年度第2回総務幹事会議事報告
3. 昭和56年度共同研究会上半期予算使用実績報告
4. 昭和57年度共同研究会予算案審議

共同研究会全体として33,735,080円の予算が承認された。

5. 山岡賞の新設

山岡氏の卒寿の祝金を基金に，(i)鉄鋼に関する多数の企業が参加し有益な成果が得られた共同研究，(ii)鉄鋼協会の共同研究会で最も有効であった研究発表あるいは優秀であった報告書に対して賞金を贈る山岡賞が新設された。

6. 鉄鋼協会入会の促進

関係各位の積極的な入会の依頼があった。

特定基礎研究会

鋼材の表面物性に関する基礎研究部会

第3回部会 開催日：3月8日。出席者：久松部会長，ほか18名。

1. 共同研究で使用する共通試料について
2. 特別講演 東北大 橋本助教

3. 昭和57年度予算案について

4. 文献レビューの“鉄と鋼”への投稿

標準化委員会

第4回アーク溶接鋼管の超音波探傷検査 JIS 原案作成分科会 開催日：3月9日。出席者：木村主査，ほか20名。

1. 規格案の訂正
2. 解説案の訂正

第3回機械構造用鋼管 JIS 改正原案作成分科会 開催日：2月24日。出席者：田中主査，ほか19名。

1. G3445 (STKM) の審議
2. G3473 (STC) の審議
3. STAM の審議

ISO 鉄鋼部会

第24回部会：開催日：3月3日。出席者：狐崎部会長ほか22名。

1. ISO 活動概況報告
2. ドキュメントの処理状況
3. 国際会議派遣会社について
4. ISO/TC17/SC12 東京会議準備状況
5. ISO/TC17 東京総会の日本代表
6. ISO 国際会議の日本開催予定

第18回 SC2 分科会 開催日：3月2日。出席者：水野主査，ほか8名。

1. 国際会議報告
 - (1) 概要 (2) CCC 関連事項
 - (3) 形状および寸法による鋼製品の定義
 - (4) Letter symbols による鋼の名称
 - (5) 鋼に関する用語集
2. 今後の対策
3. CCCN/ハイテンについて

第57回 SC4 分科会 開催日：2月10日。出席者：寺垣主査，ほか12名。

1. Unalloyed Steel の焼入性評価の検討
2. Alloyed Steel のHバンド規定値の確認
3. ISO R683/9 (快削鋼) 改正の検討
4. ISO R683/10 (窒化鋼) 改正の検討
5. ISO R683/11 (はだ焼鋼) 改正の検討
6. ISO 683/12 (炎・高周波焼入鋼) 改正の検討
7. ISO 683/14 (ばね鋼) 改正の検討
8. Machining allowances の検討
9. 製品分析許容変動値 Dr. Klaus 提案の検討
10. 表面品質規定方法の検討
11. みがき棒鋼の標準寸法および寸法許容差規定の検討

第54回 SC12 分科会 開催日：2月1日。出席者：三佐尾主査，ほか12名。

1. ISO/TC17/SC12 東京会議の新議題について
2. ISO/TC17/SC12/WG2 の推進について
3. 圧力容器用鋼板の標準化について

第9回 SC17 分科会 開催日：2月17日。出席者：光島主査，ほか11名。

1. 各 ISO 規格案に対する日本コメントの検討
 - (1) 線材の寸法規定について
 - (2) 溶接棒用線材について
 - (3) 伸線用炭素鋼線材について
 - (4) ばね用鋼線について
 - (5) 鋼線の垂鉛めつき規定について
2. 次回 SC17 国際会議への出席会社

第1回 SC19 分科会 開催日：2月19日。出席者：長尾主査，ほか7名。

1. タイトルとスコープ
2. 参加メンバー
3. 鋼管規格の様式
4. ワークプログラム
5. 継目無非合金鋼鋼管—室温特性保証
6. 継目無非合金鋼合金鋼鋼管—高温特性保証

データシート部会

第14回破壊靱性データシート分科会 開催日：2月2日。出席者：金沢主査，ほか10名。

1. データシート原稿案の審議
 - (1) まえがき
 - (2) 破壊靱性評価法（試験法）
 - (3) 鋼種別対象規格記号一覧

第85回鋼管分科会 開催日：1月28日。出席者：丸岡主査，ほか10名。

1. G3445 (STKM) 最終案の確認
2. G3472 (STAM) および G3403 (STC) 最終案の確認
3. 配管用鋼管 JIS 改正要望の検討
 - (1) ポリエチレン被覆鋼管
 - (2) UT・ET
 - (3) アンケートについて

鉄鋼標準試料委員会

第57回常任委員会 開催日：3月12日。出席者：川

村委員長，ほか13名。

1. 日本鉄鋼標準試料分析値解析一覧表
2. 機器分析用標準化シリーズ A (JSS 162~167-4) 用素材の製造
3. 機器分析用ステンレス鋼シリーズ (JSS 650~655) 用素材の製造
4. 標準試料調整予定
5. 各国標準試料の炭素定量結果
6. その他，年間活動報告案—1982など。

ISO TC17 事務局運営委員会

第10回委員会 開催日：1月28日。出席者：石原委員長，ほか17名。

下記事項について報告・審議が行われた。

1. 専門諮問部会 (TAG) 活動報告
設立以来2年を経過した TAG の活動が青木委員 (TAG 部会長) から報告された。
2. TC17 総会組織委員会報告
堀川委員 (組織委員長) より総会予算案および計画概要が報告され，いずれも承認された。
3. 事業報告，事業計画，決算および予算
昭和56年度事業報告，57年度事業計画，56年度決算予想および57年度予算案 (TC17 総会予算含む) が承認された。

第13回専門諮問部会 開催日：2月9日。出席者：青木部会長，ほか16名。

下記事項について報告・審議が行われた。

1. 昭和57年度事務局目標
本年10月に東京で開催される「TC17 総会の成功」を昭和57年度の事務局目標とする。
2. 専門諮問部会総括報告
当部会が発足以来2年を経過したので，その間の活動概要と今後の方針について，青木部会長より総括報告があり，意見交換を行った。
3. TC17 総会用問題点の抽出
専門諮問部会メンバーを主体に実施した総会用問題点抽出アンケートの回答結果について報告し，抽出された問題点をいかに整理し検討を進めていくかについて論議した。

昭和57年度工業教育研究講演会論文募集

首題の件，下記により講演発表の申込みを受付けます。

1. 主催：社団法人 日本工業教育協会
2. 協賛：本会他
3. 日時：昭和57年11月27日 (土) 午前10時～午後4時
4. 場所：上智大学7号館特別会議室 (千代田区紀尾井町7)
5. 講演申込：

締切 昭和57年6月10日 (木) 必着
申込先及び問合せ先
〒105 東京都港区新橋 2-19-10 蔵前工業会館

第18回夏期セミナーのお知らせ

テーマ：イオンビームテクノロジーとスペクトロスコピー —イオンビームと分光学的接点をもとめて—

- 主催：社団法人 日本分光学会
協賛：本会他
期日：昭和57年8月20日 (金) ~23日 (月) —3泊4日
場所：昭和薬科大学諏訪校舎 (長野県茅野市白樺湖，電話 026668-2209)
申込および問合せ先：
〒101 東京都千代田区神田淡路町 1-13
クリーンビル3階301号室
社団法人 日本分光学会 (電話 03-253-2747)